

(平成 29 年 3 月 28 日受付)

## 子ども医療費について

### ■内容

和歌山市や新宮市など、県内でも子ども医療費は無料になっています。

市の人口も減少という流れの中、子供がいる世帯に住んでもらうための 1 つの政策だと思われませんが、なぜできないのでしょうか？

予算がないと言われていますが、他の市町村も同じ状況だと思います。田辺市周辺の市町村も考えられていることなので、田辺市ももっと子供へ予算をかけてもよいのではないのでしょうか？ 親の負担を減らすことが、少子化への歯止めをかけると思います。

### ■回答

本市における子ども医療費の自己負担に対する助成につきましては、従来就学前児童の入院及び通院を助成対象としていたものを、平成 25 年 9 月には小学生の入院を、平成 27 年 4 月には中学生の入院をそれぞれ助成対象に加え、制度の拡充に努めてまいりました。子ども医療費の対象の拡大につきましては、それぞれの市町村がそれぞれの地域の実情に応じて実施してきているものと考えておりますが、本市におきましては、小中学生の通院助成の実施に際しては恒常的な単独財源が必要となることから、現在実施には至っていない状況であります。

本市におきましては、子育て支援全体を「みんなで子育て応援プログラム」としてとりまとめ、関係各課が連携を図りながら子育て支援に取り組んでいるところであり、子ども医療費の拡充につきましても、重点的に取り組むべき施策の一つであると考えておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

【保険課 医療係】

※平成 29 年 6 月議会において、小・中学生の通院医療費に係る自己負担分を助成するための予算及び条例が可決されました。これに伴い、10 月 1 日の診療分から、小・中学生の通院医療費に係る自己負担分を助成できるよう助成対象範囲を拡大します。